



松山バレエ団

シンデレラ

Cinderella スペシャルハイライト



2018年6月17日(日) 13:30開演 (13:00開場)

岬ふれあい会館 文化ホール (千葉県いすみ市)

【演出・振付】
清水哲太郎

【作曲】
S.Prokofiev

【出演】 森下洋子 / 刑部星矢 松山バレエ団

【演奏】 オリジナル録音による

【チケット】 単券 ¥6,000 ペア ¥11,000 いすみ市在住・在勤・在学 単券 ¥5,500 ※1

● 3才以上入場可。ただし入場券が必要です。● 松山バレエ団でお申し込みの場合、チケット送料を一件につき500円頂きます。● チケットは税込価格です。

● 辛心を得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※1 いすみ市在住・在勤・在学価格での購入は松山バレエ団といすみ市チケット取扱い先でのお申し込みに限ります。

■代金振込 三井住友銀行 青山支店 (普) 477483

【スタッフ】 舞台監督 / 浅香亨 照明デザイン / 古田毅志 ((同) パーフェクトブルー) 音響 / 池田大良 衣装デザイン / 森田友子・清水哲太郎

松山バレエ団公演事務局 03-3408-7939 (10:00~18:00) <http://www.matsuyama-ballet.com>

チケット
取扱い

● CNプレイガイド 0570-08-9990

● チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード484-355)

—いすみ市チケット取扱い先—

● いすみ市大原文化センター 0470-63-1222

● いすみ市夷隅文化会館 0470-86-5000

● ローソンチケット 0570-000-407(Lコード33215)

● e+イープラス <http://eplus.jp>

● いすみ市岬ふれあい会館 0470-87-8785

松山バレエ団 創立70周年記念

2018 Cinderella シンデレラ



STORY【物語】

ペロウの原作でよく知られているシンデレラ。清水哲太郎の台本、演出、振付により1990年初演された松山バレエ団の『シンデレラ』は、2009年に美しい生き方、働き方を描きだせるように新演出を加えました。

どんな境遇でもまわりの人を愛し、感謝をもって生き、自分の仕事を通じて魂を磨いていく事をテーマとしています。

どんな仕打ちを受けても、自分の魂の深い清らかさをよりどころとして、けなげに、懸命に一瞬一瞬を生き、苦しい状況を夢と希望に満ちた美しい環境へと変化させるシンデレラの純粋さを描けるよう工夫を重ねています。

こっけいな義母や姉たちも登場し、スパイスを加え、シンデレラの輝きを際立てる舞台、ご家族そろってお楽しみいただけます。



終演後、客席を歩きお客様から握手を求められる森下洋子
(2017年いすみ公演「くるみ割り人形」岬ふれあい会館にて)

昨年の熱狂再び！ 待望のいすみ公演、第二弾！！

外房地域の皆様にクラシックバレエの楽しさに触れて頂き、地域の活性化につながれば、という願いから、多くの地元の皆様のお力をいただいて実現いたしました2017年、松山バレエ団いすみ公演、おかげさまで満席のお客様の熱い歓声に迎えて頂きました。その熱狂をそのままに、二回目の今回は、「シンデレラ」よりスペシャルハイライトを清水哲太郎の演出・振付で、森下洋子はじめ松山バレエ団一同心を込めてお届けいたします。舞踊歴67年目となる世界のプリマ森下洋子を中心にお届けする愛あふれる作品を、ぜひこの機会にお楽しみください！

松山バレエ団・松山バレエ学校

1948(昭和23)年に清水正夫(前・理事長)と松山樹子(現・名誉芸術監督)によって創立されて以来、半世紀の歴史を持つ日本を代表するバレエ団、バレエ学校。創立当初より「創造こそ命」を旨として積極的な活動を展開。ヨーロッパ公演、アメリカ公演、そして15回にわたる訪中公演など数多くの海外公演も果たし、今日に至る。

現在、松山バレエ団は“新「白鳥の湖」”“くるみ割り人形”“シンデレラ”“ロミオとジュリエット”ほかドラマチックな全幕バレエのレパートリーを豊富に揃え、年間40あまりの公演を行ってバレエ芸術の普及・振興に邁進している。また松山バレエ学校は全国に支部を持ち、所属する生徒・研究生2000名あまり、精力的なバレエ教育で常に注目を集めている。

清水哲太郎 ザ・ジャパン・バレエ 松山バレエ団 松山バレエ学校 総代表、演出・振付家、舞踊家

1948年清水正夫、松山樹子によって創立された松山バレエ団に長男として誕生。

日本において東勇作、松山樹子、モナコにてマリカ・ベソプラソヴァ、ニューヨークにてスタンリー・ウィリアムズの各氏に師事。1974年ヴァルナ国際コンクールに森下洋子と出場、ダブル受賞となる。芸術選奨文部大臣賞など受賞多数。2005年には紫綬褒章を受章。現在、松山バレエ団のすべての作品の演出・振付・振付改訂を務めながら全体を統括し、団長森下洋子と共に積極的な活動を続けている。

森下洋子 松山バレエ団 理事長・団長 プリマバレリーナ

1948年、広島市生まれ。3歳よりバレエをはじめ、葉室潔、洲和みち子、橘秋子、シュベツツオブに師事。12歳で単身上京。1971年、松山バレエ団のメンバーとなり、松山樹子に師事。1974年、ヴァルナ国際バレエコンクールにて金賞受賞。エリザベス女王戴冠25周年記念公演など海外でも幅広く活躍。英国ローレンスオリビエ賞など日本人として初となる数多くの賞を受賞。1997年、女性最年少の文化功労者として顕彰される。2001年、松山バレエ団の団長に就任。松山バレエ団プリマバレリーナとしてほとんどの公演に主演する一方、バレエ団の創造活動の要として活躍。日本芸術院会員。2012年、第24回高松宮殿下記念世界文化賞受賞。

